

広報

# ふくで

2004  
April  
No.619

4/1

■ホームページ <http://www.town.fukude.shizuoka.jp/>  
■E-mail [info@town.fukude.shizuoka.jp](mailto:info@town.fukude.shizuoka.jp)  
■ふくで荘ホームページ <http://www.ensyu-fukudeso.com/>



福田町立福田小学校  
卒業証書授与式

## 旅立ち

●今月の特集…平成16年度予算

安心・安全・快適なまちづくり





# まちのキラリさん

## 市村昭二さん (9の2)

豊浜生まれ。元富山大学工学部教授。高分子化学、半導体専門の理学博士。現在、ファインセラミックスの開発製造などを手掛けるファイラックインターナショナル(株)の代表取締役。防汚性や抗菌性、防臭性の機能を持つ触媒を開発し、汚れが付きにくく落ちやすいICTタイルを商品化。平成16年発明大賞受賞。

# 科学者は花の種を見つめるだけなんです

「このままでは、町が衰退してしまいます。協力してください」  
 岐阜県笠原町の町長さんから市村さんに、そう要請があったのは、平成12年夏のことでした。  
 当時、美濃焼きタイルの産地笠原町は、大手陶器メーカーの攻勢で、地場産業が窮地に陥っていました。  
 それからわずか2年後、市村さんと笠原町の業者が共同

開発した汚れが付きにくく自浄作用のあるタイルが、マンションの外壁やトンネルの内壁などに使用されるようになりました。この功績が認められ、今年2月に日本発明振興協会・日刊工業新聞社の「第29回発明大賞」に輝きました。  
 「福田町の皆さんにも、今回の受賞と一緒に喜んでほしいんです。町内の企業や若い人たちに、『地方にいてもできるんだ』ということを伝えたいですね」  
 そう喜びを語る市村さん。子どもの頃は銀行マンになるうと思っていたそうです。しかし、旧制・袋井商業高校時代に、人生設計が変わりました。  
 「戦時中でしたから、軍から学校に教官が配属されていたんです。当時級長だった私は、その教官に、『声が小さい』という理由で、顔を34回も殴られたんです。痛い思いをしなからしっかり数えていたんですよ(笑)」  
 その教官には感謝しています。級長である私に『しっかりしろ』とメッセージを送ってくれたんです」  
 この一件が、市村さんの人

生の分岐点になりました。  
 軍隊生活には、とても耐えられないと思った市村さんは、学徒動員が免除されていた工業系の大学で、当時、花形だった航空科へ進むことにしたそうです。  
 その後、市村さんは、大学で教鞭を執りながら研究者としての道を歩んできました。  
 「人と人が出会う確率は、この広い地球で0に近いんですよ。その意味を考えないと、どんな仕事をしても、心のふれあいが大切なんです」  
 と、市村さんは出会いの大切さを学生に伝えてきました。  
 「今回受賞した発明大賞は、私だけのものではないんです。新タイル開発のお話をくださった笠原町の皆さんのものでもあるんです。皆さんとの出会いが、発明を生んだのです。発明家は、種を見つめるだけ。多くの技術者や営業マンの努力によって種が芽を出し、花が咲くんです」  
 市村さんの発明は、多くの人の熱意と努力そして愛情によって大きく花開いたようです。

## ～表紙のつづき～



写真は、福田小学校の卒業式終了後の様子です。恩師が一人ひとりの卒業生の手を握り、「がんばれ！がんばれ！」と涙を流しながら、立派に卒業していく児童にエールを送っていました。

## 広報ふくで

平成16年4月1日号

- 発行／福田町役場  
〒437-1292 静岡県磐田郡福田町福田400番地
- 編集／総務課秘書広報係  
☎0538-58-2387・☎0538-55-2110
- 印刷／(有)泉崖堂

広報ふくでは古紙率100%の再生紙を使用しています。